

広報

主

11
月号

No.
711



特集

50回目の

炎の祭典

So Hot!!

Hey Guys!!

燗
無
事
つり

峰

写真

やはたかひろ
八幡棟大さん
(町芸術文化協会写真部会 中菰野)

菰野町の秋の風物詩

僧兵まつり

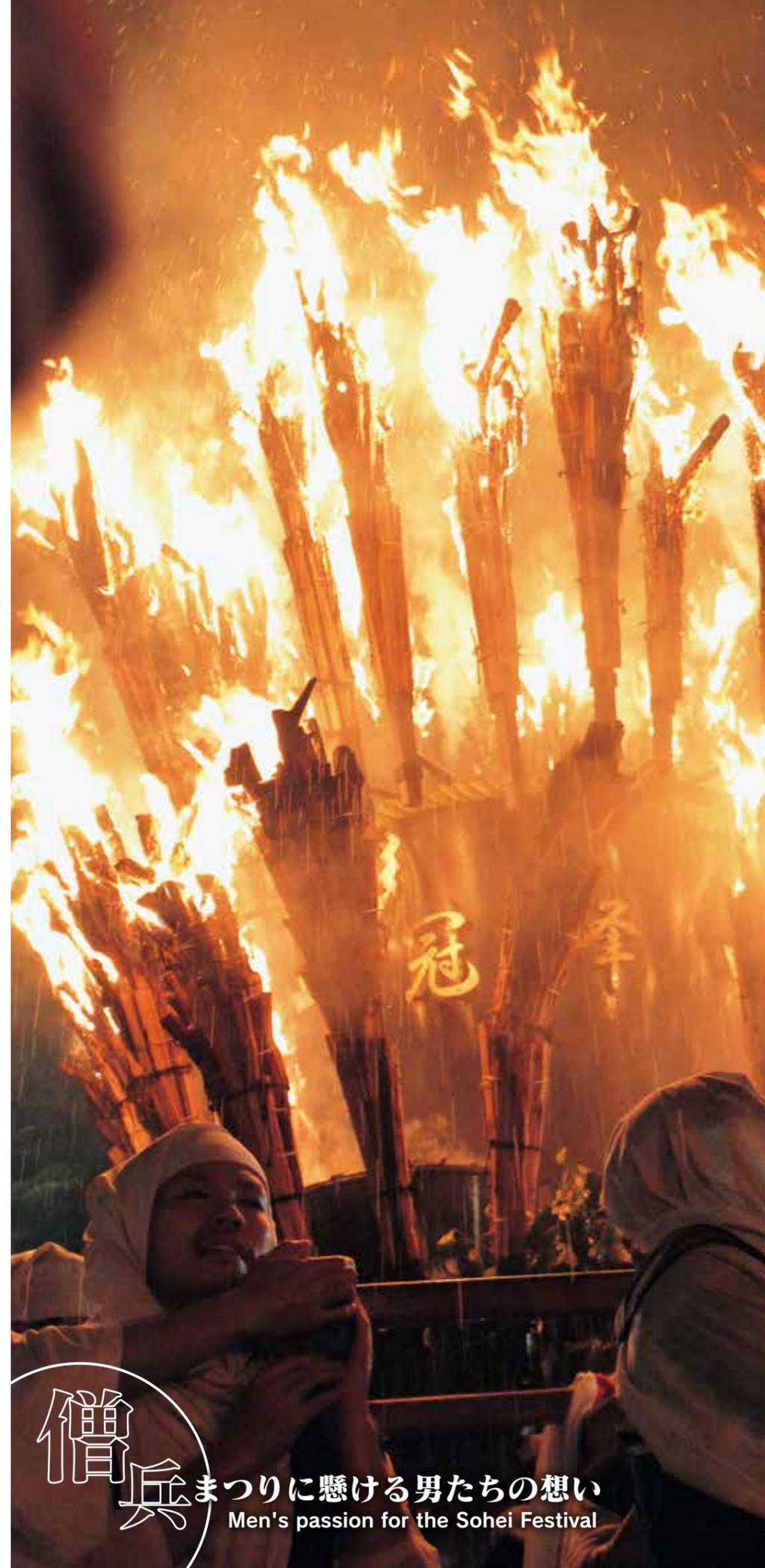
今年で開催50回目を

迎えたこの祭りに臨む

僧兵たちの姿

そして携わってきた人々の

想いに迫ります



冠峰山三嶽寺と僧兵たち

湯の山温泉にある冠峰山三嶽寺は、天台宗をおこした僧、最澄（伝教大師）が全国に開いた山岳宗教の拠点のひとつです。武家政治の時代には当時の政権の横暴に対し、天台宗の僧たちも武装して三嶽寺を守り、約760年もの間、守り続けました。特に永禄11年（1568）から始まった織田信長の伊勢侵攻に対して、天台宗の僧兵約300人が戦ったといわれています。しかし、北勢地方の天台系に属する寺院はこのとき、ことごとく焼き滅ぼされ、三嶽寺も兵火に焼き討ちされ滅亡しました。現在の冠峰山三嶽寺は、その後、再興されたものです。

僧兵まつりは、勇敢に戦ったかつての僧兵たちの姿を明治の初め頃から祭りとして再現したもので、温泉を発見した浄薫和尚の供養とともに毎年、盛大に開催されています。



3

1子どもたちに餅を振る舞う僧兵もちつき山車
2御在所ロープウェイ会場に集った大勢の僧兵たち
3昭和40年代、祭りの最終日に行われていた火炎みこし



1

2

僧兵まつりのこれまで

現

在では、秋を迎える上で菰野町には欠かせない祭りとなつている僧兵まつり。その前身は湯の山温泉の湯元祭りでした。各旅館、御在所ロープウェイなどの関係者は湯元祭りに湯の山温泉街全体をにぎわせるため祭りの目玉が必要と考え、実行委員会を組織し、焼き討ちされた三嶽寺と僧兵たちの姿をもとにして「火」をテーマにした「僧兵まつり」を企画しました。僧兵まつり開始当初は現在のような火炎みこしはなく、わらを燃やすなどして兵火を表現していましたが、その数年後、木製の樽に松明を取り付けた火炎

祭りの声

地元を盛り上げるために

火炎みこしの参考とするため京都の「鞍馬の火祭」などを視察しに行ったことを覚えています。資金集めなど開始当初は苦労の連続でしたが、湯の山全体で協力しながら、地元を盛り上げたい一心で取り組んでいました。

深流の宿 蔵之助
僧兵まつり 初代実行委員長
やだまさのり
矢田正則さん



みこしを祭りの中核に据えるようになりました。

毎年10月8日から3日間、僧兵まつりが開催されていた昭和年代には湯の山区の子どもや旅館で働く芸者だけで担ぐ子どもみこしや芸妓みこし、それぞれの旅館前で僧兵たちがつきたての餅を振る舞う僧兵もちつき山車なども行われていました。そして近年では、10月の第一週の週末に1日間で開催されるようになり、祭り一番の見どころである重さ約600kg、100本ほどの松明が燃える勇壮な火炎みこしの姿は変わっていません。炎を扱い、危険が伴う祭りではありますが、これまで一度も大きな事故はなく、毎年催行されています。

僧兵

まつりに懸ける男たちの想い
Men's passion for the Sohei Festival

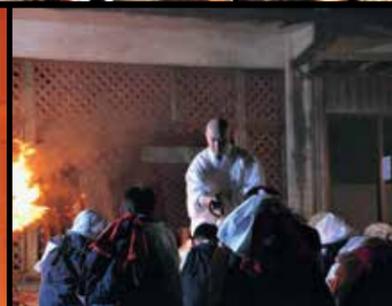
不動明王の炎を灯す

僧兵たちが担ぐ火炎みこしの炎には冠峰山三嶽寺の本尊、不動明王の炎が表されています。不動明王の力を借りて、事故なく御在所ロープウェイ会場まで辿り着けるよう祈念し、三嶽寺から送り出しています。



冠峰山三嶽寺
住職
しばけんたく
斯波賢徳さん

祭りの声



熱い思いが 作り上げた 50回目の 炎

50回目の炎が灯るとき

強

い秋風が吹く天候となった10月6日の祭り当日。強い風は夜になっても静まることはなく、三嶽寺に灯された炎は大きく揺らいでいました。午後7時、衣装をまとった僧兵たちが集うと、50回目の炎を一目見ようと集まった100人以上の見学者、カメラマン、報道関係者とともに祭りの熱は徐々に高まっていきました。三嶽寺住職の祈念がはじまり、僧兵一人ひとりに冠峰山三嶽寺の本尊、不動明王の力が込められると、その熱量はさらに増し、松明に炎を灯しはじめると、熱量は最高潮に達します。「ソイヤ」という僧兵たちの勢いある掛け声のもと、大きく燃える火炎みこしが持ち上がる。周囲からは歓声が沸き、目的地である御在所ロープウェイ会場に向けてゆっくりと動き出しました。



菰野町を安全なまちに 交通安全作文 コンクール



菰野町交通安全作文コンクール表彰式

四日市西警察署長賞
やぶうちゆうき
藪内祐樹
【菰野小5年】

菰野町長賞
すずむらかのん
鈴村奏音
【朝上小6年】

菰野町教育長賞
いんでんさあや
末竹泰治
【竹永小5年】

菰野ライオンズ
クラブ会長賞
すえたけたいち
末竹泰治
【竹永小5年】

菰野町
小中学校長会長賞
かとうみお
加藤望央
【鶴川原小5年】

四日市交通安全協会賞
はだかいと
秦 榎紘
【千種小4年】

菰野町協議会議長賞
てらおみ
寺尾美希
【菰野中1年】

菰野町教育長賞
いんでんさあや
位田沙綾
【八風中3年】

※敬称略

交 交通安全を題材にした作文コンクールの入賞者7人の表彰式が、9月19日に役場本庁で行われ、菰野町長賞に選ばれた鈴村奏音さん（朝上小6年）が入賞者を代表して作品を発表しました。このコンクールは、夏休みを利用して町内の小中学生を対象に募集したもので、789人から作品が寄せられました。

身近にひそむたくさんの危険

朝上小学校 6年 鈴村奏音

私は毎朝、7時30分に家を出ます。学校までの道のりは、約1キロですが、その中でも怖い思いをした事があります。

ある朝、横断歩道を渡るうとした時、歩行者側の信号が青になったにもかかわらず、いきなり猛スピードで車が突っ込んで来たのです。幸い、私達は一歩み出した所ですぐに止まったため、事故に巻き込まれずに済んだのですが、もう少し渡るのが早ければ事故につながっていたのかも知れないと思うと、とてもゾッとしました。そして、しばらくの間、ドキドキが止まりませんでした。以前より母からは、「自分は気をつけているつもりでも、巻き込まれる事もあるのだから、信号が青になったとしても必ず左右確認は忘れないでね。」と言われていました。けれど、その時の私は、そんなこと言われなくてもわかってはいるしと軽く聞き流していました。あの時、ちゃんと右左を確認していたら、あんなに怖い思いをしなくても済んだのだととても後悔しました。母の言っていた意味の大切さを身にしみて感じる事ができました。自分は大丈夫、巻き込まれることも今までなかったから大丈夫、といった過信が恥ずかしくなりました。

今年6年生になり、登校班の副班長としての責任も増え、自分自身はもろろんのこと、下級生の子たちの安全も特に考えるようになりました。自分が後悔したことを下級生の子たちにも伝えたいと、私ができる範囲で、

「はい、ここは止まるよ。とび出さないよ。右左確認してね。危ないよ。」などの声かけをしています。まだ春から一年生になったばかりの子たちは、こちらが注意することも多く、急に走り出したりするとヒヤリとさせられることも多々あります。その度に何度も同じことを言っていて、わかってもらえるように努力しています。1年生の子たちには、あの頃、母に言われた時の私のように、そんなこと言われなくても分かっているよと思われているかもしれないけれど、いつかきつと分かってくれると信じて、これからもみんなで安全に登校していきたいと思えます。

歩行者、自転車運転者、バイク運転者、ドライバーと、みんなそれぞれ立場は違いますが、それぞれ立場に合った注意をしていくことが大切だと思います。そして、私は大丈夫といった過信やちよつとした油断が事故を巻き起こしてしまつ危険性があるということに絶対に忘れてはいけなないと思います。私も毎日元気に行きますとたたいまが言えるように、自分の行動に責任を持ちたいです。

そして、最後に、毎朝見かける車のドライバーさんの中に、スマートフォンを操作しながら運転している方をよく見かけます。危ないので絶対にやめてください。どうか心と時間にゆとりを持って運転してください。お願いします。

受賞作品を発表する鈴村さん▶



入賞者の皆さん おめでとうございます

祭りの声

湯の山に欠かせない祭り

僧兵まつりには小さい頃から20年以上、毎年参加しており、湯の山地域には欠かせない祭りです。火炎みこしは担いでいても熱く、御在所ロープウェイ会場までの上り坂が最も大変ですが、舞い散る火の粉に注意しながら絶対に運びきります！



僧兵太鼓保存会
おぎさこうた
小笹幸多さん



3



1



2

1僧兵たちが迫力ある音色を響かせる僧兵太鼓
2最後の力を振り絞り上り坂に臨む僧兵たち
3ファイナーレで盛大に打ち上げられた花火

動

燃え盛る火炎みこしの姿

き出した火炎みこしは旧三重交通バス停前までのしばらくの区間、下り坂を進みます。時折、火炎みこしの炎を抑えるために水を浴びせながら、曲がり角や傾斜の強い坂に注意をして着実に進んでいきます。旧三重交通バス停前まで辿り着くと、御在所ロープウェイ会場までは急な上り坂が続きます。ここからが僧兵たちの正念場です。上り坂に差し掛かると僧兵たちはこれまで以上に額に汗を流し、苦悶の表情を浮かべながら上っていきます。時には火炎みこしの重量に耐えきれず、進行方向



から逸れそうになることもあり、ますが一步一步上っていきます。ようやく御在所ロープウェイ会場までたどり着くと大勢の見学者たちが、間近で感じる火炎みこしの熱さと迫力に驚きながらも盛大な拍手で迎え、火炎みこしはその拍手にこたえ、火勢のピークに達し、燃え盛る炎は太陽のように明るく会場を照らします。見学者の出迎えにこたえ、火炎みこしは役目を終え、熱さと重さから解放された瞬間、僧兵たちは清々しい表情を浮かべていました。火炎みこしの到着を祝うかのように花火が打ち上げられ、50回目の炎の祭典が今年も無事に終わりました。

祭りの声

祭りを継続するために

僧兵まつりは、他に類をみない県下最大の炎の祭りです。松明作りなど準備は開催1か月前から始まりますが、この祭りを継続するために安全確保に気を配りながら、毎年、開催できるよう努めています。

湯の山区長
僧兵まつり実行委員長
おがわかずたか
小川一隆さん



来年へとつながる消えない炎

10月 菰野町と名張市で合計 60 羽が飛び立つ

21日 キジ 30 羽を放鳥



放鳥する町猟友会会員と大空へ飛びたいいくキジ

町 猟友会会員によるキジの放鳥事業が役場本庁南側河川敷で実施されました。これはキジの個体数確保および保護繁殖を目的として行われるもので、今年、町では 30 羽のキジが放鳥されました。放鳥されたキジは元気に勢いよく飛び立っていきました。

長年の功績を称えて

危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章

森本喜千さん (72 歳 竹成 元県警部補)

西警便り nishikei dayori

犯罪被害者支援を 考える集い

入場無料 申込不要

内容 犯罪被害者遺族による講演 被害者支援グループによる展示

開催日時 12/17 13:30~16:00

開催場所 三重県人権センター 多目的ホール [三重県津市一身田大古曾 693 番地 1]

問い合わせ先 三重県警察本部 広聴広報課被害者支援室 TEL 059-222-0110 (内線 2921・2922)

10月 菰野町の秋の一大イベント

20日 第 14 回かもしかハーフマラソン



鈴鹿山脈を背に田園の中を駆けるランナーたち

秋 晴れの清々しい天候の中、全国から約 4,400 人のランナーが参加して、第 14 回鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンが開催されました。今回は新名神高速道路の菰野 IC が設置されてから初の開催となりましたが、当日は大きな混乱や事故もなく、北は北海道、南は福岡県からランナーが集いました。参加したランナーたちは、菰野町の豊かな自然と鈴鹿山脈の美しい景色を楽しみながら、町内各所のアップダウンが激しいコースを駆け抜けました。

10月 戦没者を追悼し恒久平和を誓う

5日 戦没者追悼式典を開催



非核平和宣言を読み上げる水谷さん

第 40 回戦没者を追悼し平和を祈念する式典が町民センターホールで開催され、戦没者の冥福を祈りました。式典では、昨年度まで町遺族会会長を務めた佐藤孝幸さんが「生涯をかけた戦没者慰霊」と題して、これまでの活動を振り返りました。また、今夏に町の事業で広島を訪問した水谷 旭さん (八風中 3 年) が非核平和宣言を読み上げ、澁谷紗那さん (菰野中 3 年) と中竹心咲さん (八風中 2 年) が平和への想いを発表しました。最後に参加者は献花とともに恒久平和を誓いました。

10月 菰野町の秋の味覚が勢ぞろい

6日 まこも収穫祭を開催



菰野町おいしいお米を考える会による新米を使ったボン菓子作りの実演

マ コモやお米など菰野町の秋の収穫を祝う第 7 回まこも収穫祭が福祉公園で開催されました。秋晴れの中、会場では町内の事業者等が多数出店し、さまざまな料理が提供されました。また、マコモを使用したクラフト体験などのブースも設置され、訪れた人々は秋の収穫を満喫していました。

▶新米を味わう子どもたち



8月20日~ 菰野町の「つくり手」たちが先生に

9月29日 こもガク 2019 を開催



メイン会場である農村センターで行われた「三重イチ」

町 内全域を会場として 8 月 20 日から 9 月 29 日までこもガク塾が開催され、町内各所で陶芸、アウトドアクッキング、稲刈り、乗馬など多種多様な体験講座が開講されました。また、期間の最後の 9 月 27 日から 29 日にはこもガク祭が開催され、雑貨、工芸品、農産物、食品などが町内外から出品され、手に取りながら来場者は楽しんでいました。

10月 ハードル競技で中学生 2 人が三重県代表に

2日 ジュニアオリンピックに出場



左から清水さん、町長 打田さん

第 50 回ジュニアオリンピック陸上競技大会に出場する打田快生さん (菰野中 3 年)、清水寧々さん (八風中 3 年) が町長を訪問しました。町長から今回の大会での抱負を問われると打田さんは「これまでの経験を生かし、いい走りをして自分が納得いく結果を出したいです」と答え、清水さんは「今回こそはという思いで臨み、目標を達成できるように自分自身を信じて頑張ってきます」と答えました。町長は「2 人には日本を代表する選手になってもらいたい。まずは今回の大会で全てを出し切って頑張ってきてください」と激励しました。

犯罪被害者等 支援活動

犯罪被害者等 支援活動

犯罪被害者等 支援活動

犯罪被害者週間 11/25 月 ~ 12/1 日

犯罪被害者支援の相談窓口 (公社) みえ犯罪被害者総合支援センター TEL 059-221-7830 (平日 10:00 ~ 16:00) みえ性暴力被害者支援センター「よりこ」 TEL 059-253-4115 (平日 10:00 ~ 16:00) 性犯罪被害相談電話全国共通番号(24 時間対応) TEL #8103 (はーとさん) TEL 0120-110-919 (フリーダイヤル)

菰野町図書館
ビブリオバトル参加者募集

ビブリオバトルとは発表者が読んで面白かった本を発表し、参加者同士のディスカッションの後に「一番読みたい本」を選ぶ書評合戦です。参加のお申し込みは図書館窓口へお尋ねください。



日程 12月1日 会場 町図書館2階催事室

おとなのための朗読会
「おはなしの小箱」

▶ 11月13日 10:30～12:00
朗読アーティスト松岡由香さんによるおはなしの世界をお楽しみください。



えむらひろゆき
榎村寛之氏講演会
～菰野町に伝わる『皿屋敷』の話～

▶ 11月29日 10:00～11:30 申込締切 11月12日

新着図書から

『旅行にいこう!』 一般書

▶ 藤澤和子・川崎千加・多賀谷津也子・小安展子 / 企画・編集・制作
▶ 樹村房 (290.9/リ)
本書はL Lブックといって写真や絵などで障がいがある方にも読みやすくわかりやすく作られた本です。1泊2日の家族旅行のウキウキ感が伝わってきます。「読書が苦手」という方にもお勧めします。



『「ハッピーな部活」の作り方』 ティーンズ

▶ 中澤篤史・内田良 / 著
▶ 岩波書店 (J 375/ナ)
中高生の皆さんにとって、自分がしたいスポーツや文化活動を思う存分、楽しむことができるのが部活動です。しかし、実際には長時間の練習や理不尽な指導などで悩むことも多いですよね。そんな困ったときに頼れる「部活の参考書」を手にとってみてはいかがでしょうか。



『とんでいったふうせんは』 児童書

▶ ジェシー・オリベロス / 文
▶ ダナ・ウルエコッテ / 絵
▶ 落合恵子 / 訳
▶ 絵本塾出版 (E / U)
みんなが持っている「思い出」のふうせん。ある日、おじいちゃんの手を離れてふうせんが飛んで行ったのに、おじいちゃんは気付かなくて…アルツハイマー病を発症した祖父と優しい孫の姿を描いた絵本です。



11月 図書館カレンダー
CALENDAR

1 金	
2 土	社会を明るくする運動ポスター展示 ▶ 11月1日から11月13日まで
3 日	
4 月	
5 火	
6 水	
7 木	
8 金	催事室 寒蘭花展示会 ▶ 11月8日から11月10日まで
9 土	14:00～ 楽しいおはなし会
10 日	
11 月 休館日	
12 火	
13 水	10:30～ おとなのための朗読会
14 木	16:00～ 英語のおはなし会
15 金	
16 土	催事室 花墨会書道展 ▶ 11月16日から11月17日まで
17 日	
18 月 休館日	展示コーナー ヒーローVS悪役 ▶ 11月24日まで
19 火	
20 水	
21 木	
22 金	
23 土	13:30～ 民話がり 14:00～ 楽しいおはなし会
24 日	
25 月 休館日	
26 火 休館日	
27 水	催事室 かもしかーフマラソン写真展示 ▶ 11月19日から12月5日まで
28 木	
29 金	10:00～ 榎村寛之氏講演会
30 土	

郷土史・風俗

第68回 寺社建築と宮大工
菰野の寺社

神殿の建築様式は、伊勢神宮の白木、堀立、かやぶきの簡素な純日本風のものにはじまり、それが大社造、春日造、神明造に変化しました。そして、6世紀に大陸から仏教が伝来すると、礎石を置き柱を立て、瓦ぶき、木に塗料を施すなど、宮殿や仏堂が壮大な規模になりました。鎌倉期に禅宗が伝えられ、天竺様式に日本風が調和した折衷様式の建築が生まれ、日本の繊細な技術で工夫が重ねられました。

町の神社の本殿は、神明造から流造に変化した様式です。拝殿は、切妻から入母屋様式までさまざま。明治期の合祀時にほとんど新築されたため、室町、江戸初期の古建築は少ないようです。寺院で禅宗寺院様式を構えているのは臨済宗の見性寺で、その本堂は客殿様式です。浄土、真宗系は、天保年代(1830～1843)に建立された翠巖寺、金蔵寺、願行寺の本堂で江戸期の真宗寺院建築様式に合う御堂です。

菰野の宮大工

菰野は土方氏一万石の城下に武家屋敷があり、城の門前には商家が軒を並べ、左官、車大工、指物、籠屋、桶屋などの工人が店を開いていました。なかでも寺社建築を主に行う宮大工は、中菰野に伊藤重近、佐藤惣左衛門、東菰野に田中文右衛門、福井親蔵、武藤三千蔵、大塚武兵衛などがおり、大強原では平野万右衛門、杉谷では増田又吉らが活動していました。

金蔵寺の本堂▶



町長のひとり語

The Story of our Mayor



今年9月4日から6日にかけての当町での豪雨において、町の皆さんは不安な思いをされたことだと思います。特に被害に遭われた方には心からお見舞いを申し上げます。

町では、できるだけ速やかに復旧活動を進めているところですが、予算の確保や復旧のための工事設計、工事を進めるための事業者の選定などさまざまな手続きが必要で、なかなか修復の手が回ってこないように町の皆さんは感じるかもしれません。着実に復旧に向けて進めておりますのでご理解いただきたいと思っております。

ところで皆さんもニュースなどで災害対策本部の設置という言葉を目にしたことがあると思います。災害対策本部とは、被害を最小限に食い止め、災害に対して迅速な対応を図り、情報収集や活動

Theme 08 災害への対応

を行うために地方自治体などが設置する機関で大雨、台風、地震、大雪などあらゆる災害に対して必要だと判断した場合に設置します。そして、災害対策本部の中で、町の皆さんを守るための避難勧告や避難指示などを発するのは、本部長である町長です。

町の皆さんの生命、身体、そして財産という大事なものを守ることが行政の仕事です。ですから、気象警報が発表された場合や災害が想定されるような場合は、職員も庁舎で待機し、もしもの事態に備えています。職務を全うすべく今後も気を引き締めていきますので、町の皆さんも町防災マップなどを参考に自宅の災害リスクや避難経路を確認するなど、もしものときに備えるようにしてください。

このコーナーでは菟野町の懐しい風景を紹介しつゝ。今月号は昭和 60 年に潤田区で撮影された安楽寺の写真です。



写真の撮影場所



安楽寺と銀杏の老木

第92回写真で振り返るこもの

草むらに穴あく南瓜ころがりて
蟋蟀ふかきに身を埋めおり
包丁を当てて初めて大根に
すのあることに気付く夕暮れ
アメリカに追従するなの声虚し
総理に響かず夏空敵し
盆過ぎの暑さやわらぐ朝の道
心弾みてこの橋こえる
「千の風」とても好みの歌なれど
やはり墓参し夫に会いたい
デイサービスけやきの里に敬老の日を
祝いくださるハープ奏でて

増田陽出美
尾崎久美子
豊田真知子
市川吉康
花木みち子
木村かず

落鮎の飛ぶ勢ひを焼いて食ぶ
〔評〕鮎の姿焼である。鮎が泳いでいるかのよ
うに体をくねらせて串に刺して焼く。飛ぶ勢
いの姿を焼いて食べるのでとてもおいしい。
生き生きとした動的な句である。
水禍の地供花となりたる曼珠沙華
煤色の欄間色なき風に色
梨の実の水の重さを挽ぎにけり
水かげろふ幹に移ろふ松手入
線となり防潮堤の秋の釣
山の風袂膨らす風の盆

羽多野和子
宇佐美ちる子
三輪明美
水谷洋子
出口洪子
小林桂子
石井いさお

DATA 9月のデータ

	件数	1月からの累計
火災発生	0	7
救急車出動	144	1,197
交通事故	17	120
急病	100	802
一般負傷	17	189
その他	10	86
救助出動	2	20
交通事故	98	900
物損事故	92	854
人身事故	6	46
死者	0	2
傷者	10	59

	数	増減
総人口	41,719人	+5人
男	20,682人	+23人
女	21,037人	-18人
総世帯数	16,613世帯	+55世帯
下水道接続人口	28,713人	+26人
接続率(対総人口)	68.8%	±0.0%

9月末現在



愛のかけはし基金へ▶坂口祐悟様から 88,888 円
社会福祉のために▶第 22 回オール千種親睦ゴルフ大会から
26,400 円▶匿名でもち米 30kg ▶匿名で 72 円

平成 30 年北海道胆振東部地震災害へのご支援ありがとうございました

菟野町では、平成 30 年北海道胆振東部地震の被災地に対する義援金の受付を行っています。皆様から義援金として、90,514 円（10 月 25 日現在）のご支援をいただいています。この義援金は日本赤十字社三重県支部を通じて被災地へ送ります。

【問い合わせ】総務課安全安心対策室 TEL391-1102 FAX394-3199

■菟野町ホームページアドレス (URL) <http://www.town.komono.mie.jp/> ■菟野町電子メールアドレス keyaki@town.komono.mie.jp
*インターネットの菟野町ホームページでは、広報こものを当紙と同じ体裁でご覧いただけます。

「広報こもの」は視覚障がいのある方(障害者手帳をお持ちの方)に「声の広報」をお届けすることができます。ご希望の方は役場企画情報課 (TEL391-1105/FAX391-1188) にお問い合わせください。